



電話機操作マニュアル

- 01 保守に関する注意事項
- 02 使用上の注意事項
- 03 電話機各部の名称
- 04 機能説明
- 05 停電時の対応

Startia Cloud Voice



01

保守に関する注意事項

- ・ 機器のメーカー保証期間は納入から 1 年になります。ただしお客様の過失による機器の故障の場合は 1 年未満であっても有償での修理になります。
- ・ 納入から 1 年を経過した機器の修理はお客様の過失の有無にかかわらず有償となります。
- ・ 配線の断線、短絡、破損の際の技術員の派遣による対応は有償になります。
- ・ HUB、単独電話機、アンプ、スピーカ、ヘッドセットなど民生品の保守に関しては該当機器のメーカー保守内容に準じます。
- ・ リースをご利用いただいている場合においてもリース契約の規約に記載の通り機器修理に関してはお客様のご負担により修理を行うことになります。

ご不明点ございましたら担当営業にお問い合わせください。

02

使用上の注意事項

- ・別冊子の「安全にお使いいただくために」を必ずご確認ください。
- ・お客様のご契約状況によりご使用できない機能がございます。
- ・他メーカーの端末を設定してご使用いただくことはできません。
- ・外線着信音はお客様で変更ができません。
- ・110番や119番などかけることができない番号があります。次ページ「接続可否番号について」をご確認ください。
- ・電話をかける相手先がナンバー・ディスプレイなど発信者番号を表示させる契約がされていない場合、相手先にはこちらの電話番号が表示されず「非通知」となります。



Startia
Cloud Voice

02

使用上の注意事項 接続可否番号について

番号	サービス名	可否
100	100番通話	×
104	番号案内	×
106	コレクトコール	×
108	自動コレクトコール	×
110	警察	×
113	故障受付	×
114	お話中調べ	×
115	電報受付	×
116	営業受付	×
117	時報	×
118	海上保安	×
119	消防	×
121	クレジット通話サービス	×
125	でんわ会議	×
134	ダイヤルQ2パスワード	×
135	特定番号通知	×
136	ナンバーアナウンス	×
141	でんわばん、2重番号サービス	×
142	ボイスワープ	×
144	迷惑電話おこわりサービス	×
145	キャッチホンⅡ	×
146	キャッチホンⅡ	×
147	ボイスワープセレクト、なりわけサービス	×
148	ナンバー・リクエスト	×
149	DDX-TP	×
151	ナンバーズネット	×
152	ナンバーズネット	×
159	空いたらお知らせ	×
161	ファクシミリ通信網	×
162	ファクシミリ通信網	×
163	DDX-TP	×
164	DDX-TP	×
165	メール送受信	×

166	ビデオテックス接続	×
167	DDX-TP	×
169	DDX-TP	×
171	171 災害時伝言ダイヤル	×
177	天気予報	○
184	発信者番号非通知	○
186	発信者番号通知	○

ZIP050→【0AB0】番号

0120	フリーアクセス/フリーダイヤル 等	○
0170	伝言ダイヤル	×
0180	テレホン・テレホン・テレホン	×
0190	エンジェルライン/あんないじョース	×
0570	ナビアクセス/APナビ/ナビダイヤル	×
0800	フリーアクセス	○
0910	公専接続	×
0990	ダイヤルQ2	×

【0A0】番号

010	国際電話	○
020	ポケベル	×
050	IP電話	○
060	UPT(eコール)	×
070	PHS	○
080	携帯電話	○
090	携帯電話	○

NTTドコモ衛星船舶、衛星航空機、航空機電話

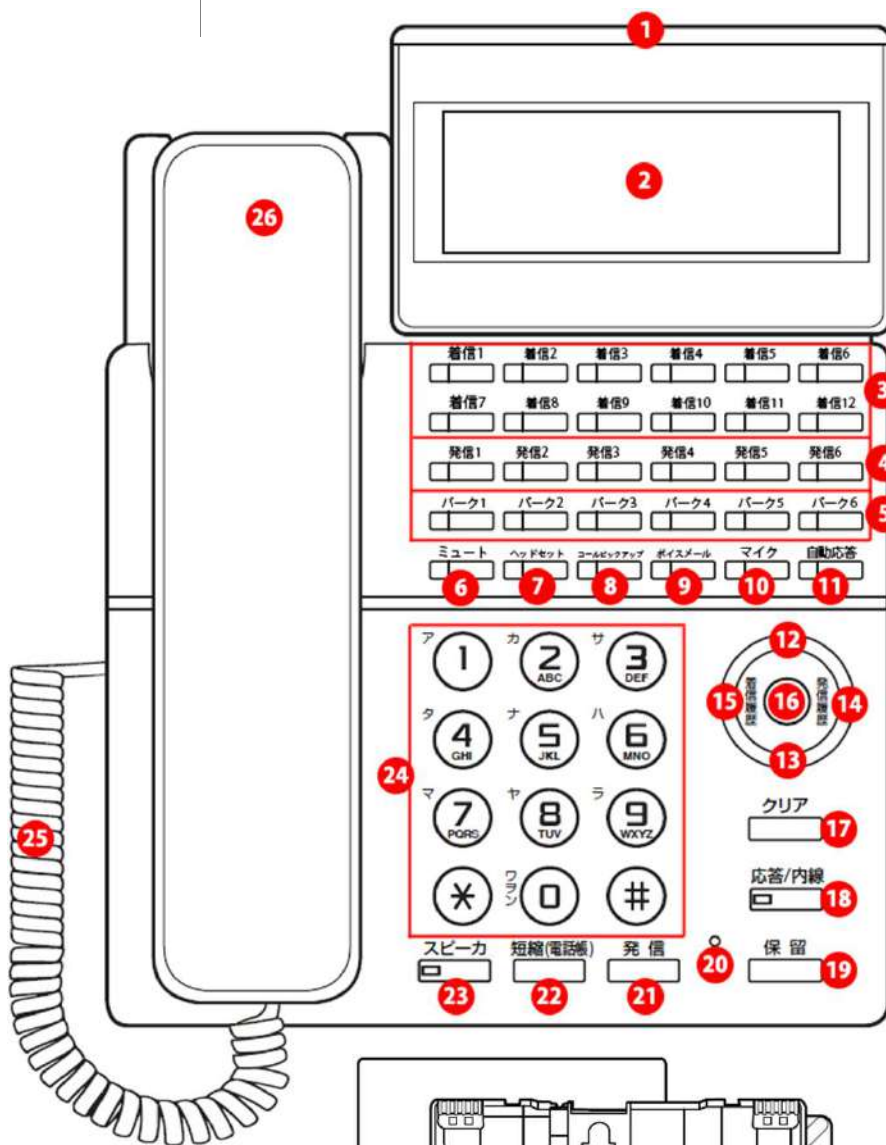
090-300-42xxx	×
090-302-01xxx	×
090-302-20xxx～47xxx	×
090-302-55xxx	×
090-302-57xxx～63xxx	×
090-302-66xxx～67xxx	×

【#+ABCD】

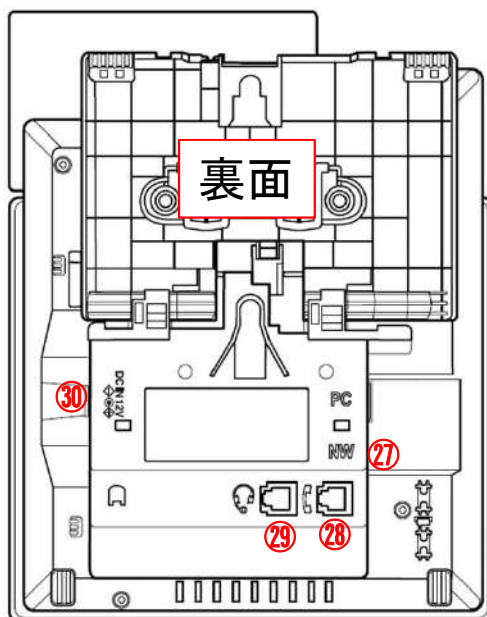
#7000～#9999	シャープダイヤル	×
-------------	----------	---

03

電話機各部の名称 置型電話機



- ①着信ランプ
- ②表示部 (LED)
- ③着信キー
- ④発信キー
- ⑤パークキー
- ⑥ミュートキー
- ⑦ヘッドセットキー
- ⑧コールピックアップキー
- ⑨ボイスメールキー
- ⑩マイクキー
- ⑪自動応答キー
- ⑫音量アップ/上カーソル
- ⑬音量ダウン/下カーソル
- ⑭発信履歴/右カーソル
- ⑮着信履歴/左カーソル
- ⑯確定ボタン
- ⑰クリアボタン
- ⑱応答/内線ボタン
- ⑲保留ボタン
- ⑳マイク
- ㉑発信ボタン
- ㉒短縮(電話帳)ボタン
- ㉓スピーカボタン
- ㉔ダイヤルボタン
- ㉕カールコード
- ㉖受話器



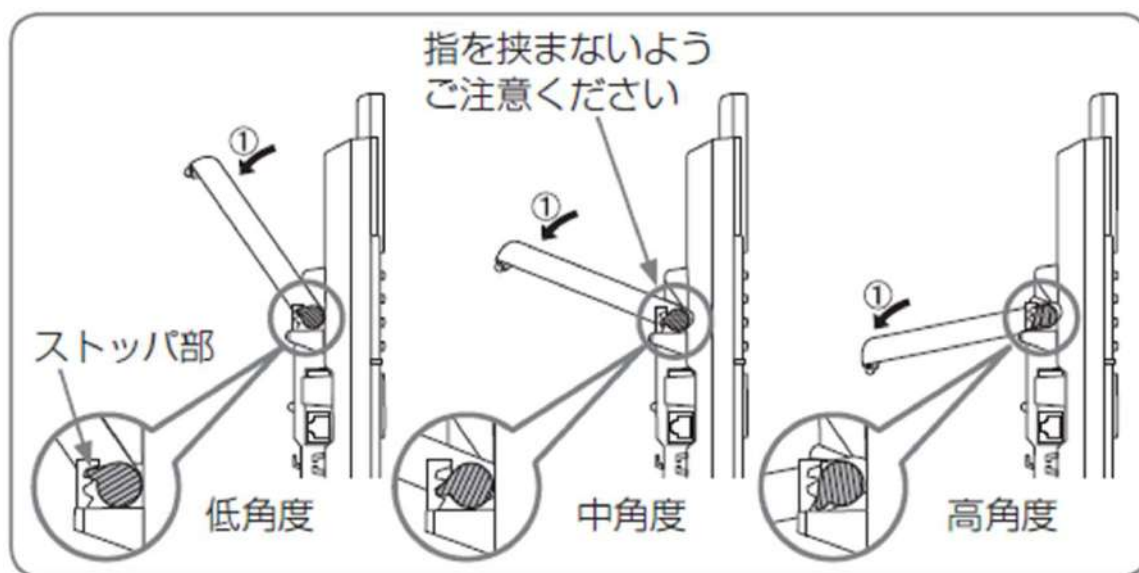
- ㉗NWポート
- ㉘カールコード挿込口
- ㉙ヘッドセット挿込口
- ㉚DCジャック

03

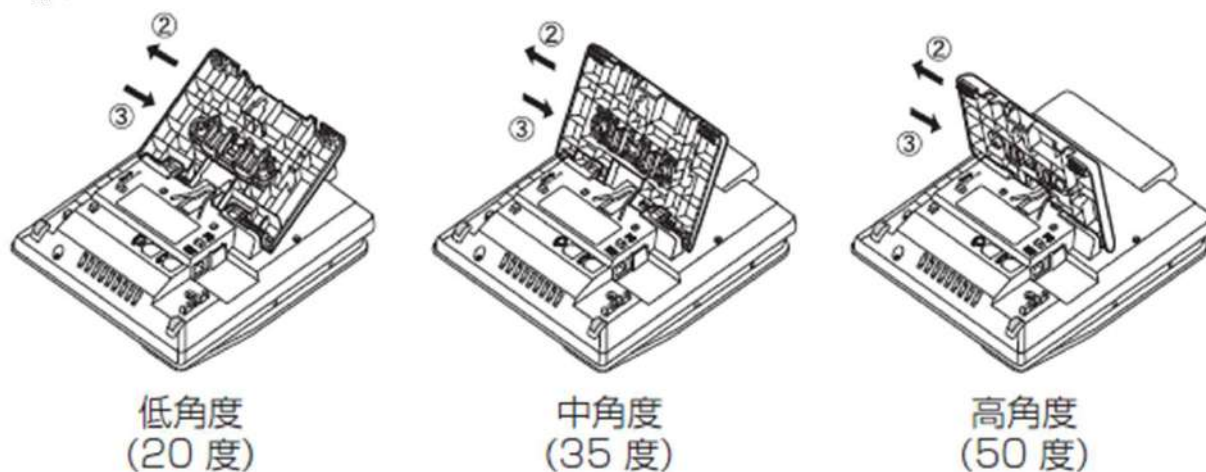
電話機各部の名称 電話機の角度を変える



- 1 ご使用状況に合わせスタンドを①の方向に引き上げ、ストッパ部を下図の位置に合わせます。（無理に引き上げると破損するおそれがあります）



- 2 スタンドを②の方向にスライドさせ、固定します。
スタンドを戻すときは、スタンドを③の方向にスライドさせて引き上げま
す。



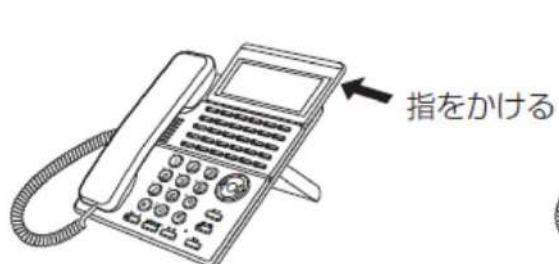
Startia
Cloud Voice

03

電話機各部の名称 ディスプレイの角度を変える



- 1 ディスプレイの端に指をかけます。
- 2 ①の方向に持ち上げ、好みの角度で止めます。
- 3 角度を小さくする場合は②方向に押して、好みの角度で止めます。



※ ②方向の場合は段階的に力
チツと止まります。

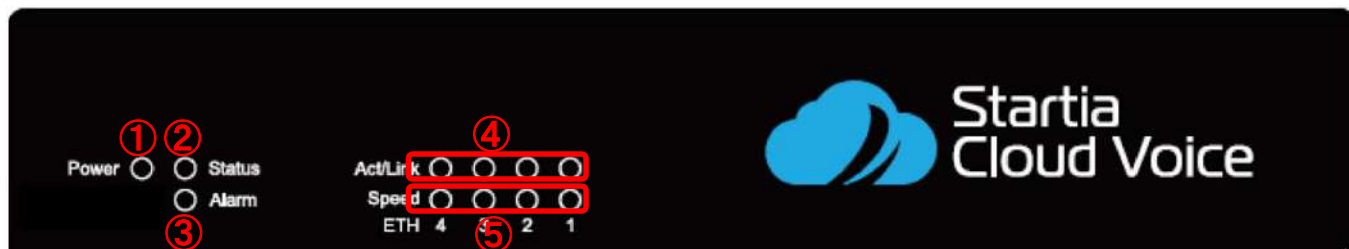


Startia
Cloud Voice

03

電話機各部の名称 ルータ

正面



- ① Power : ACアダプタが接続されると点灯
- ② Status : インターネット接続時に点灯
- ③ Alarm : ひかり電話直収タイプの場合と点灯
- ④ Act/Link : 対応する背面のETHポートがリンクアップすると点灯
- ⑤ Speed : 対応する背面のETHポートにデータが通じると点滅

裏面



- ⑥ DC-IN : ACアダプタ接続
- ⑦ USB : 未使用
- ⑧ ETH1 : 未使用
- ⑨ ETH2 : ONUに接続
- ⑩ ETH3 : 電話機端末に接続
- ⑪ ETH4 : 他ネットワーク接続を行う際にルータWANに接続
- ⑫ Console : 未使用
- ⑬ VGA : 未使用

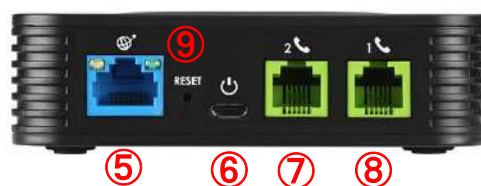
03

電話機各部の名称 FAXアダプタ

上面



横面



- ① ACアダプタが接続されると点灯
- ② FAX1が使用できる状態の時点灯、送受信時点滅
- ③ FAX2が使用できる状態の時点灯、送受信時点滅
- ④ ひかりルーターに接続すると点灯
- ⑤ ルータETH3ポートに接続
- ⑥ ACアダプタを接続
- ⑦ FAX1に接続
- ⑧ FAX2に接続
- ⑨ 未使用



Startia
Cloud Voice

04

機能説明



- ・ カレンダー・時計設定
- ・ 音量変更
- ・ 発信・着信操作
- ・ ワンタッチ・短縮・電話帳発信
- ・ 通話保留
- ・ 発信・着信履歴
- ・ 電話帳登録
- ・ 外線手動転送
- ・ グループ不在転送（外線自動転送）
- ・ ハンズフリー通話
- ・ ヘッドセット接続
- ・ 営業時間案内
- ・ 留守電（グループボイスメール）
- ・ 公私区分
- ・ フォローミー
- ・ ミュート



Startia
Cloud Voice

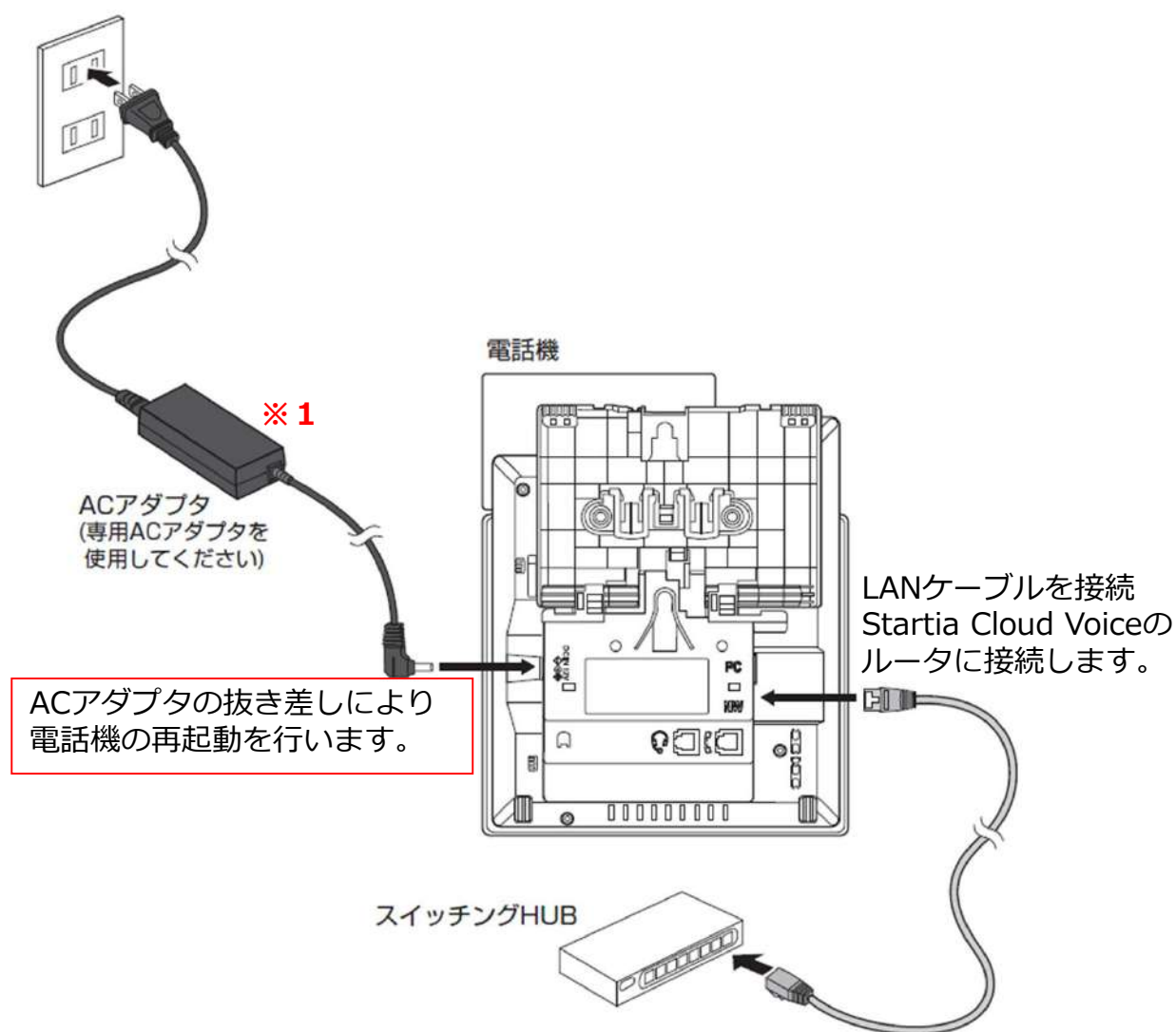
04

機能説明 カレンダー・時計設定



カレンダー/ 時計の年、月、日、時刻はインターネット上から自動取得されるため、別途操作などによって変更する必要はありません。

停電などのあとで間違った日程・時間が表示されている場合は電話機のACアダプタの抜き差しを行い、電話機を再起動させることで解消されます。



※1 : ACアダプタの形状は納入時期によって異なる場合があります。

04

機能説明 音量変更

- 受話音量を変える

受話器で**通話中**に十字キーの上下を押す。

音量はゼロにはできません。

送話音量の調節はできません。

- スピーカ音量を変える

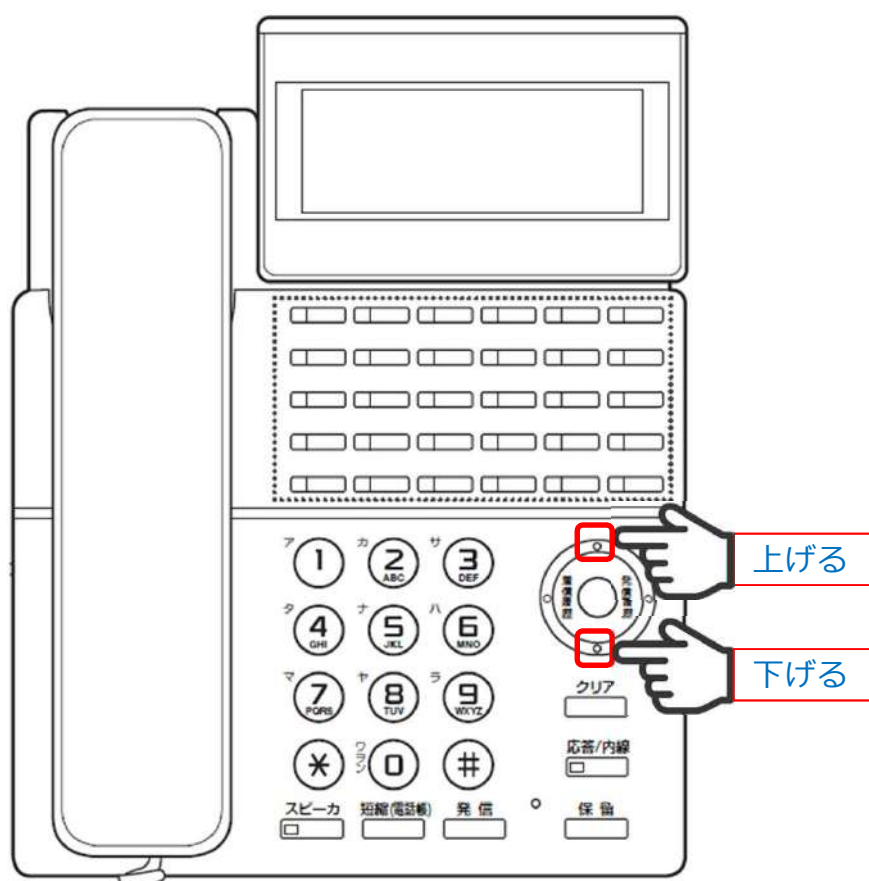
スピーカから**音が出ているとき**に十字キーの上下を押す。

音量はゼロにはできません。

- 着信音量を変える

着信音が**鳴っているとき**に十字キーの上下を押す。

音量を最小にすると**着信音が鳴らなくなります**。



Startia
Cloud Voice

04

機能説明 発信・着信操作

- 電話をかける

電話番号または内線番号をダイヤルし「発信」ボタンを押す。

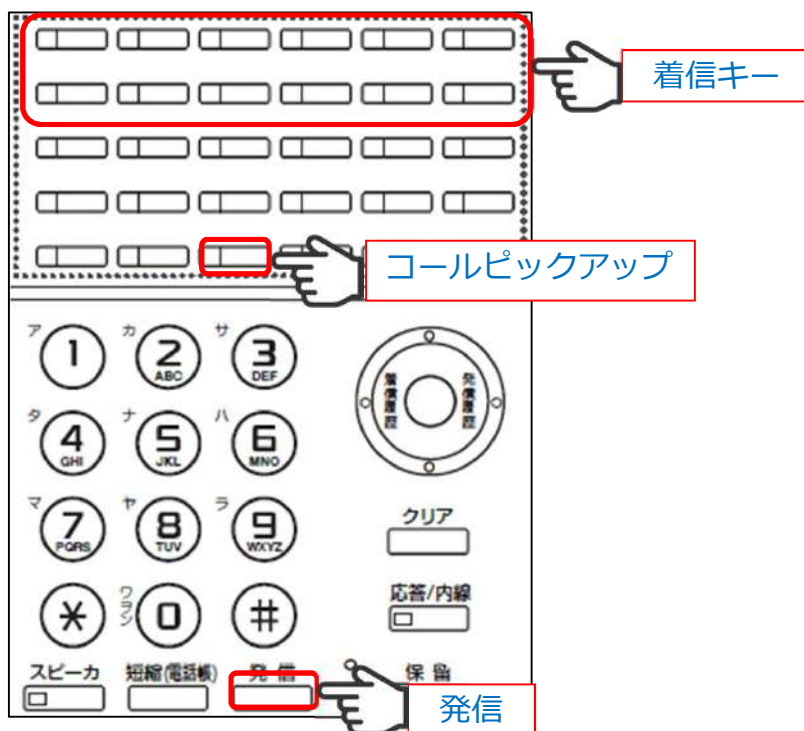
- 外線を受ける

赤点滅している「着信キー」ボタンを押す。
着信に応答すると「着信キー」は消灯します。

通話中に着信した場合は通話を終了しても「着信キー」は点滅しません。
その場合は「コールピックアップ」ボタンを押すことで着信に
応答することができます。

- 内線を受ける

そのまま受話器を上げる。
コードレスの場合はスピーカボタンを押す。



- 国際電話発信

0 1 0 + 相手先国番号 + 相手先電話番号 → 発信

注意

誤発信防止のため初期では国際電話をかけられない設定になっています。使用する場合は使用する内線番号を担当営業かサポートにご連絡ください。

04

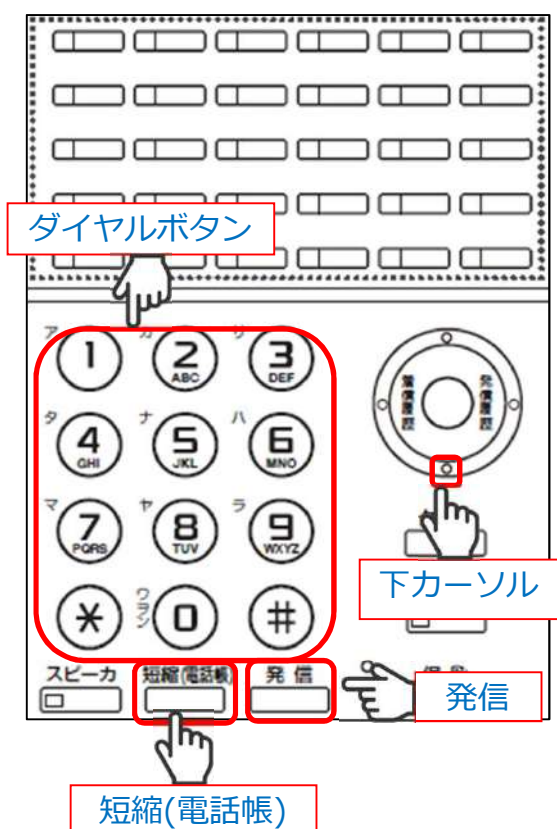
機能説明 短縮・電話帳発信

●短縮番号による発信

- ・「短縮(電話帳)」ボタンを押す。
- ・2桁(00～99)の短縮番号を押し「発信」ボタンを押す。

●電話帳から検索して発信

- ・「短縮(電話帳)」ボタンを2回押す・
- ・検索する名前のフリガナの**1文字目**の50音順該当行のA段の文字に該当するダイヤルボタンを押す。
- ・下カーソルを押し検索する名前を選択する。
- ・「発信」ボタンを押す。



Startia
Cloud Voice

04

機能説明 通話保留

●パーク保留

共通の保留方法で保留後に他の電話機でも応答することができます

- ① 外線・内線通話中に「パーク1」～「パーク6」ボタンを押す

- ・押した「パーク」ボタンが緑点滅
- ・他の電話機では同じボタンが赤点滅

- ② 応答する場合は点滅している「パーク」ボタンを押す

※保留後2分経過すると保留を行った電話機に呼び返しを1分間行い、その間に応答操作がない場合は通話が切断されます。長時間の保留を行う場合は自己保留を使用してください。

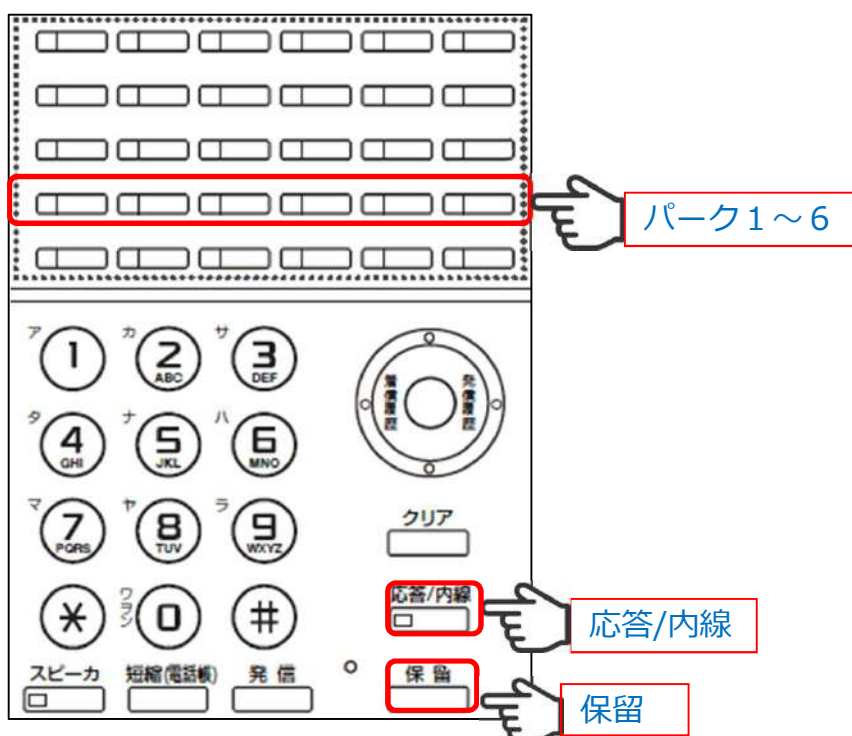
●自己保留

個別の保留方法で保留を行った電話機のみが保留の応答操作を行うことができます

- ① 外線・内線通話中に「保留」ボタンを押す

- ・「応答/内線」ボタンが赤点滅
- ・他の電話機は特に変化なし

- ② 応答する場合は「応答/内線」ボタンを押す

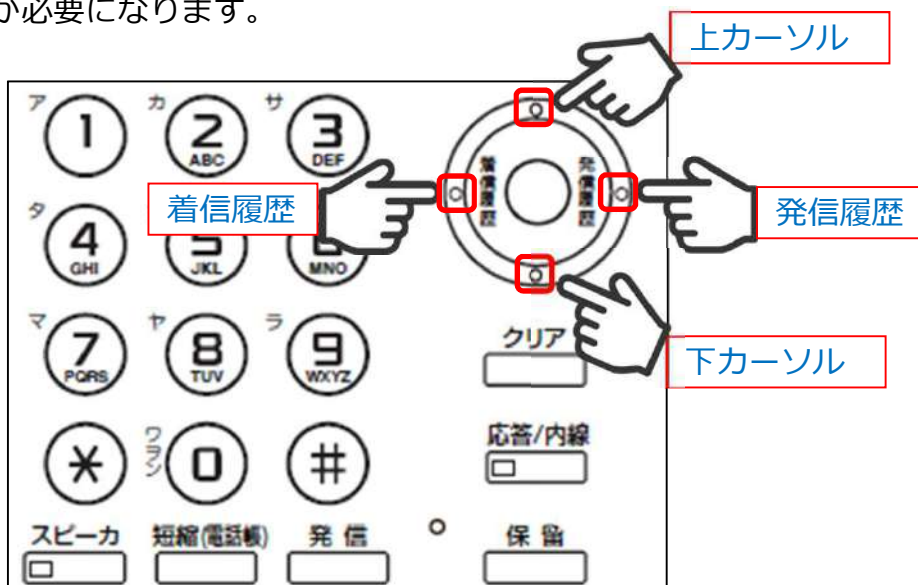


04

機能説明 発信・着信履歴



- 「**発信履歴**」 「**着信履歴**」を押すことにより履歴が表示されます。（各20件）
 - ・履歴表示中に上下のカーソルボタンを押すことで前後の履歴に切り替わります。
 - ・履歴は電話機毎の表示となり他の電話機の履歴を確認することはできません。
 - ・電話機の電源を切った場合は履歴は端末から消去されます。
 - ・履歴が20件を超えると古いものから消えます。
 - ・非通知での着信は履歴に残りません。
 - ・20件を超える履歴を確認するには別途「ウェブコントローラ」のご契約（アカウント毎）が必要になります。



表示例

発歴01 01/01 11:23AM ①
スターティア ②
0353392101 ③

- ①：発信を行った日時が表示。
- ②：電話帳から発信を行った場合、電話帳に登録された名称が表示される。電話番号を直接入力して発信した場合は空欄。
- ③：電話番号が表示。

着歴01 01/01 11:23AM ①
スターティア ②
0353392101 ③

- ①：着信を行った日時が表示。
- ②：着信した電話番号が電話帳に登録されていた場合、電話帳に登録された名称が表示。登録がない場合は電話番号が表示。
- ③：電話番号が表示。

04

機能説明 電話帳登録(1/11)



注意事項

- ・電話帳は**電話機毎の登録**になります。
- ・電話帳へは2種類の方法で登録することが出来ます。

1) 電話機の操作により**手動で登録を行う。** →**カタカナ表示のみ**

2) パソコンより**プログラムを使用し登録を行う** →**漢字表示可能**

パソコンの設定を変更する必要がある可能性があります。

パソコンから接続されているLANの配線の接続変更が必要となります。

Microsoft Excelを使用します。ソフトはお客様にてご準備ください。

エクセルのマクロを使用するためお客様社内のセキュリティポリシーによっては出来ない場合があります。

この作業を行うことでお客様のパソコン、ネットワーク、その他に障害が起きた場合でも、スターティアでは責任を負いかねます。

3) パソコンより登録を行う場合は別途**登録用ソフト**と**編集用エクセルシート**が必要になります。必要に応じて配布させていただいておりますので、**営業担当またはサポート窓口**にお問い合わせください。



Startia
Cloud Voice

04

機能説明 電話帳登録(2/11)

手動による登録

- ① 待ち受け時に「確定」ボタンを押す
- ② ダイヤル「2」または「2：電話帳設定」を選択し「確定」ボタンを押す。
- ③ 現在登録されている電話帳データが表示されるのでそのまま「確定」ボタンを押す。
- ④ ダイヤル「1」または「1：新規登録」を選択し「確定」ボタンを押す。
- ⑤ ダイヤルにて電話番号を入力し「確定」ボタンを押す。
- ⑥ ダイヤル「1」を押し「しない」を選択し「確定」ボタンを押す。
- ⑦ ダイヤルにて表示名を入力し「確定」ボタンを押す。
※ カナ入力のみ対応
※ 「クリア」ボタンで直前の1文字を削除
- ⑧ 01～99の短縮番号を指定し入力し「確定」ボタンを押す。(任意)
※ 短縮番号を指定しない場合は未入力のまま「確定」ボタンを押し先に進む。
- ⑨ ワンタッチ番号
※ ワンタッチボタンはありませんので登録しても動作しません。未入力のまま「確定」ボタンを押し先に進む。
- ⑩ 「左カーソル」ボタンを2回押しメニューを終了する。

1. 電話機情報表示
2. 電話帳設定
3. 電話関連設定
4. ネットワーク設定

1. 新規登録
2. 編集
3. 削除
4. 発信履歴登録

電話番号入力

発信時特番付加

1. しない
2. する

発信時名称入力

カナ

短縮番号入力

ワンタッチ番号入力



※ワンタッチダイヤルは01～03までです

04

機能説明 電話帳登録(3/11)

パソコンからの登録

動作環境：Windows7、Windows10

必要ソフトウェア：Microsoft Excel2000 以上

マクロ機能を使用します。使用設定に関してのお問い合わせについては
ご回答できませんのでご了承ください。

登録用プログラム：TelbookEditTool0803.exe

編集用テンプレート：電話帳_IPNetPhoneSXⅢ_V2.00.xlt

準備

- ・「TelbookEditTool.0803.exe」と「電話帳_IPNetPhoneSXⅢ_V2.00.xlt」
をわかりやすい同一フォルダに保存する。
- ・パソコンをStartia Cloud VoiceのネットワークにLANケーブルで接続する。
- ・パソコンをDHCPクライアントとしてIPアドレスを自動取得設定にする。
- ・登録を行う電話機のIPアドレスを確認する

電話機から 「確定」 ボタン

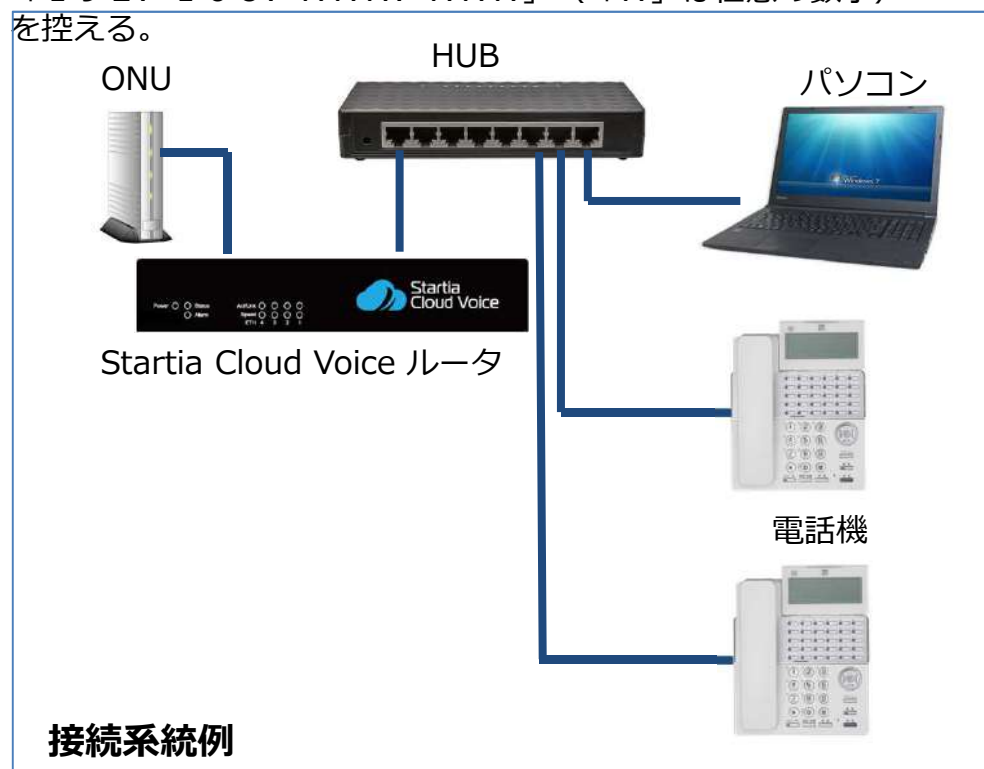
→ 「1. ネットワーク設定」

→ 「5. 設定値表示」

を選択し「IP」の右に表示されている値

「192.168.XXX.XXX」（「X」は任意の数字）

を控える。



04

機能説明 電話帳登録(4/11)

作業手順

- 1 「TelbookEditTool.0803.exe」を使用し、電話機から電話帳データを読み込む。※ 1
- 2 「電話帳_IPNetPhoneSXⅢ_V2.00.xlt」を使用し読み込んだデータを編集する。
- 3 「TelbookEditTool.0803.exe」を使用し、編集したデータを電話帳データを書き込む。

※ 1

ワンタッチボタンの情報が書き込まれている場合があるため、電話機に電話帳データが登録されていない場合でも、一度電話機から電話帳データを読み込み、その電話帳データを編集・保存登録を行ってください。

「TelbookEditTool.0803.exe」 画面構成と入力内容

SAXA電話帳編集ツール

電話機設定

テンプレート ① C:\電話帳編集ツール\Template電話帳.xlt

端末IPアドレス ② 192 168 1 100

ユーザID ③ user

パスワード ④ ****

⑤ ☒ ユーザID、パスワードを保存する(アプリケーション終了時に保存)

⑥ 電話機から電話帳データを読み込む

⑦ 電話機へ電話帳データを書き込む

⑧ 電話帳データの編集を行う

⑨ 終了

⑩ バージョン情報

SAXA電話帳編集ツール Version 1.0.0.0

Copyright (C) 2006 SAXA,Inc.

番号	項目名	説 明
①	テンプレート	使用する電話帳編集用テンプレートを指定する
②	端末IPアドレス	電話帳の読み込み・書き込みを行う電話機のIPアドレスを指定する
③	ユーザーID	「user」と入力します
④	パスワード	「user」と入力します
⑤	保存チェックボックス	③、④を保存しておくかどうかを選択します
⑥	読み込みボタン	②で指定した電話機から電話帳データの読み込みを行います
⑦	書き込みボタン	②で指定した電話機へ電話帳データの書き込みを行います
⑧	編集ボタン	電話帳データの編集用テンプレートを起動します
⑨	終了ボタン	電話帳編集ツールを終了します
⑩	バージョン情報	電話帳編集ツールのバージョンを表示します

04

機能説明 電話帳登録(5/11)

電話帳データの読み込み

1 登録を行う電話機のIPアドレスを確認する

電話機のIPアドレスの調べ方

- ・電話機の【確定ボタン】を押す
- ・ダイヤル「1」→「2」と順に押し設定値表示画面を出す
- ・表示されたIPアドレスを控える
- ・左カーソルボタンを3回押し待受画面に戻る

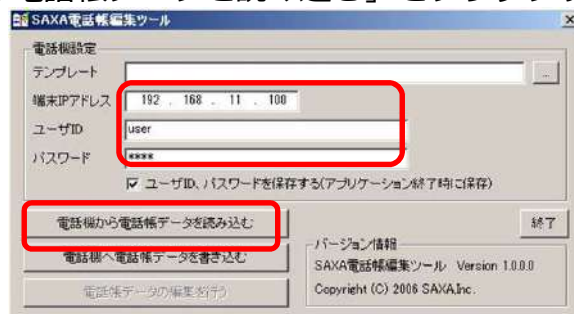


「設定値表示画面」例

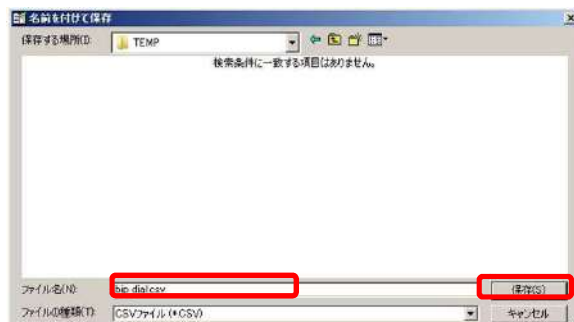
IP	192.168.011.100
MASK	255.255.255.000
GW	192.168.011.001
DHCP	使用する

2 「TelbookEditTool.0803.exe」を使用し、電話機から電話帳データを読み込む

- ・「TelbookEditTool.0803.exe」起動し、必要事項を入力する
- ・「電話機から電話帳データを読み込む」をクリックする



- ・「名前をつけて保存」ダイアログが表示されるので保存場所を指定し、ファイル名に適当な名前をつけて「保存」する。



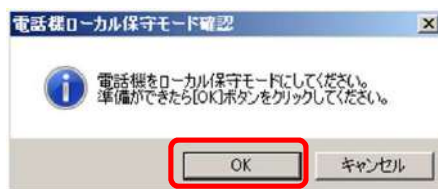
04

機能説明 電話帳登録(6/11)

- ・「電話帳ローカル保守モード確認」のダイアログが表示されるので、電話機で下記操作を行い「ローカル保守」モードにする。
 - 1 電話機の「確定」ボタンを押す
 - 2 ダイヤル「7」を押す



- ・「電話機ローカル保守モード確認」ダイアログの「OK」を押す



- ・読み込みが終了すると「電話帳読み込み」画面の表示が消え、指定したフォルダにCSVファイルが作成されます。

注意

読み込んだCSVファイルをダブルクリックして直接Excelで開かないでください。
電話番号のデータが破損し使用できなくなります。

04

機能説明 電話帳登録(7/11)

電話帳データの編集

- 電話帳編集用エクセルシート「電話帳_IPNetPhoneSXⅢ_V2.00.xlt」を開く
セキュリティの警告が出ることがあります。その場合は「コンテンツを有効にする」または「マクロを有効にする」を選択してください。
わからない場合は御社システム担当者にお問い合わせください。
- 「読込」をクリックして保存したCSVファイルを開く。

	読込	保存					
1	番号	氏名	フリガナ	特番 付加	電話番号	短縮番号	ワンタッチ 番号
2	001			0			
3	002			0			
4	003			0			
5	004			0			
6	005			0			
7	006			0			
8	007			0			
9	008			0			
10	009			0			
11	010			0			
12	011			0			
13	012			0			
14				0			



04

機能説明 電話帳登録(8/11)

電話帳データの編集

- ・「氏名」「フリガナ」「電話番号」「短縮番号」「ワンタッチ番号」の編集を行います。
 - ※ ワンタッチダイヤルを使用しない場合はワンタッチ番号の入力は必要ありません
 - ※ 短縮番号を使用しない場合は短縮番号の入力の必要はありません
 - ※ 「特番付加」は電話帳から電話番号を検索後のダイヤル操作を行う場合は「1」を行わない場合は「0」を入力します。

重要 入力時の注意事項

- 氏名 : 全角10文字以内
- フリガナ : 全角カタカナ10文字以内
「フリガナ」は検索時に1文字目のみ使用します
- 電話番号 : 半角31文字以内「-」（ハイフン）は入力不可
- 短縮番号 : 半角00～99まで（重複不可）
使用しない場合は未入力
- ワンタッチ番号 : 半角01～03まで（重複不可）
使用しない場合は未入力

- ・「①」「I」「株」「有」などの機種依存文字は使用できません
- ・半角スペースは使用できません

上記注意事項が守られていしないと、書き込みの際に見かけ上電話機への書き込みが終っても電話機へ反映されません。

	読込	保存					
1	番号	氏名	フリガナ	特番付加	電話番号	短縮番号	ワンタッチ番号
2	001			0			
3	002			0			
4	003	全角10文字	全角カナ10文字	0または1を入力	半角31文字以内 「-」使用不可	00 ～ 99	01 ～ 03
5	004						
6	005						
7	006						
8	007						
9	008						
10	009						
11	010						
12	011						
13	012						
14							

04

機能説明 電話帳登録(9/11)

電話帳データの編集

- ・編集が終わったら「保存」をクリックし名前をつけてわかり易い場所に保存する。

	読み	保存					
1	番号	氏名	フリガナ	特番 付加	電話番号	短縮番号	ワンタッチ 番号
2							
3	001			0			
4	002			0			
5	003			0			
6	004			0			
7	005			0			
8	006			0			
9	007			0			
10	008			0			
11	009			0			
12	010			0			
13	011			0			
14	012			0			



※注意

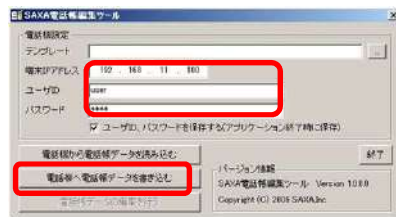
「電話帳_IPNetPhoneSXⅢ_V2.00.xlt」を終了する際に「保存しますか？」と出ますが「保存しない」を選択し終了、保存しないようにしてください。

04

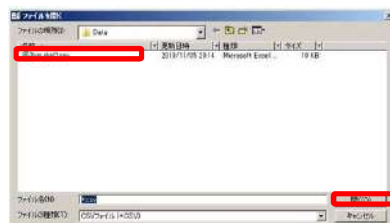
機能説明 電話帳登録(10/11)

電話帳データの書き込み

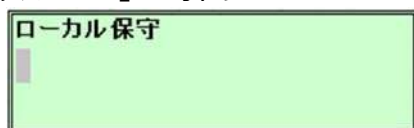
- 1 「TelbookEditTool.0803.exe」 起動し必要事項を入力し、「電話機へ電話帳データを書き込む」をクリックする



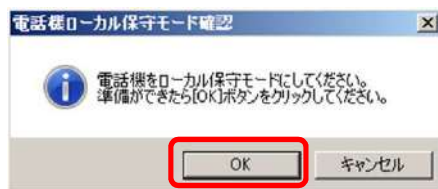
- 2 「ファイルを開く」ダイアログが表示されるので、登録を行う電話帳データを選択し「開く」をクリックする



- 3 「電話帳ローカル保守モード確認」のダイアログが表示されるので、電話機で下記操作を行い「ローカル保守」モードにする。
 - 1 電話機の「確定」ボタンを押す
 - 2 ダイヤル「7」を押す



- 4 「電話機ローカル保守モード確認」ダイアログの「OK」を押す



- 5 書き込みが終了すると「電話帳書き込み」画面の表示が消えます。電話機の電話帳内容が更新されていない場合は書き込みに失敗しています。登録が失敗する場合、電話機ディスプレイに一瞬「書き込みエラー」の表示が出ます。書き込みに失敗した場合、登録するデータに不備があります。

04

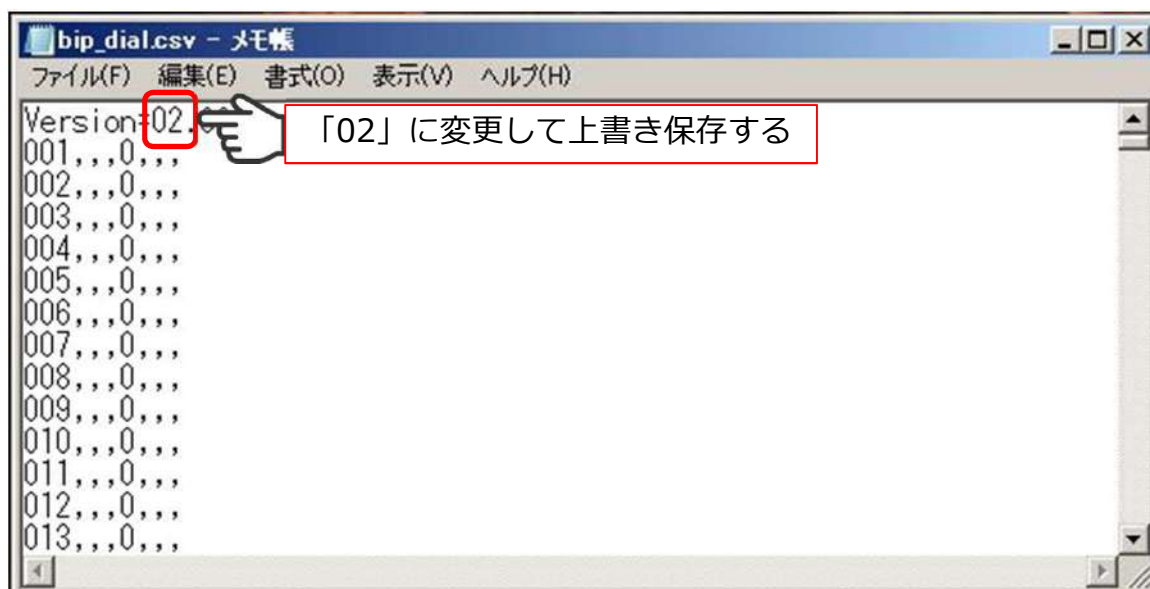
機能説明 電話帳登録(11/11)

電話帳データの書き込み

NP 330 電話機、WNP 110 コードレス電話機の短縮データを登録する場合、
短縮データをそのまま「電話帳_IPNetPhoneSXⅢ_V2.00.xlt」で読み込むと、501番以降の情報が消えてしまい登録することができません。

いちどNP 330用の電話帳編集シート「電話帳.xlt」で開き、必要箇所をコピー＆ペーストで「電話帳_IPNetPhoneSXⅢ_V2.00.xlt」に張り付けてください。

また保存したデータを「メモ帳」などのテキストエディタで開き1行目が
「Version=01.00」であった場合、「Version=02.00」に変更、保存してご使用ください。



04

機能説明 外線手動転送



置型電話機で応答した着信を携帯電話や他の電話番号、他の内線、クラウドソフトフォンの転送を行うことができます。

- 1 通話中の相手に転送することを伝える「保留」を押す
- 2 転送をかける相手先の電話番号または内線番号をダイヤルし「発信」ボタンを押す
- 3 相手が出たら相手先に用件を伝える（注1）
- 4 受話器を置く（注2）

注1：相手が転送を受けない場合は「応答／内線」ボタンを押すことで保留に再応答することができます。

注2：受話器を置くことで転送が完了しますが、相手が応答を受けない場合に相手より先に受話器を置いてしまうと転送が完了してしまいます。



クラウドソフトフォンの転送方法はクラウドソフトフォンの取扱説明書を御覧ください。

04

機能説明 グループ不在転送（外線自動転送）

外線の着信を携帯や他の電話番号に自動で転送を行うことができます。

常時転送

設定： * 1 7 1 + グループ内線番号（+転送先電話番号） → 発信

解除： * 1 7 0 + グループ内線番号 → 発信

不応答時転送（5秒間（初期値）応答がないと転送を開始します）

設定： * 1 8 1 + グループ内線番号（+転送先電話番号） → 発信

解除： * 1 8 0 + グループ内線番号 → 発信

- ・グループ内線番号は電話番号毎に設定されています。
（分からない場合はスターティアまでお問い合わせください）
- ・グループ所属の電話機からのみ設定可能です。
- ・初めての設定、または転送先を変更する場合は、転送先電話番号まで入力後、発信してください。
- ・転送が開始されると社内の電話機は鳴らなくなります。
- ・転送状態の有無は視覚的には確認することができません。
- ・複数の転送先を同時に設定することはできません。
- ・転送先に通知される電話番号は初期では相手先電話番号（発信元電話番号）ですが会社の電話番号（転送元電話番号）を通知することも可能です。

電話番号	グループ内線番号



注意

ご使用にはサーバーへの初期設定（有償）が必要になります。

04

機能説明 ハンズフリー通話

受話器を使わずに電話機内蔵のマイクとスピーカで通話できます（ハンズフリー通話）

「マイク」ボタンを押してランプが点灯している場合、受話器を置いたままスピーカとマイクで通話することが可能です。

「マイク」ランプが点灯中でも受話器での通話は可能です。

注意

- ・スピーカ音量を大きくするとハウリングを起こすことがありますのでご注意ください。



Startia
Cloud Voice

04

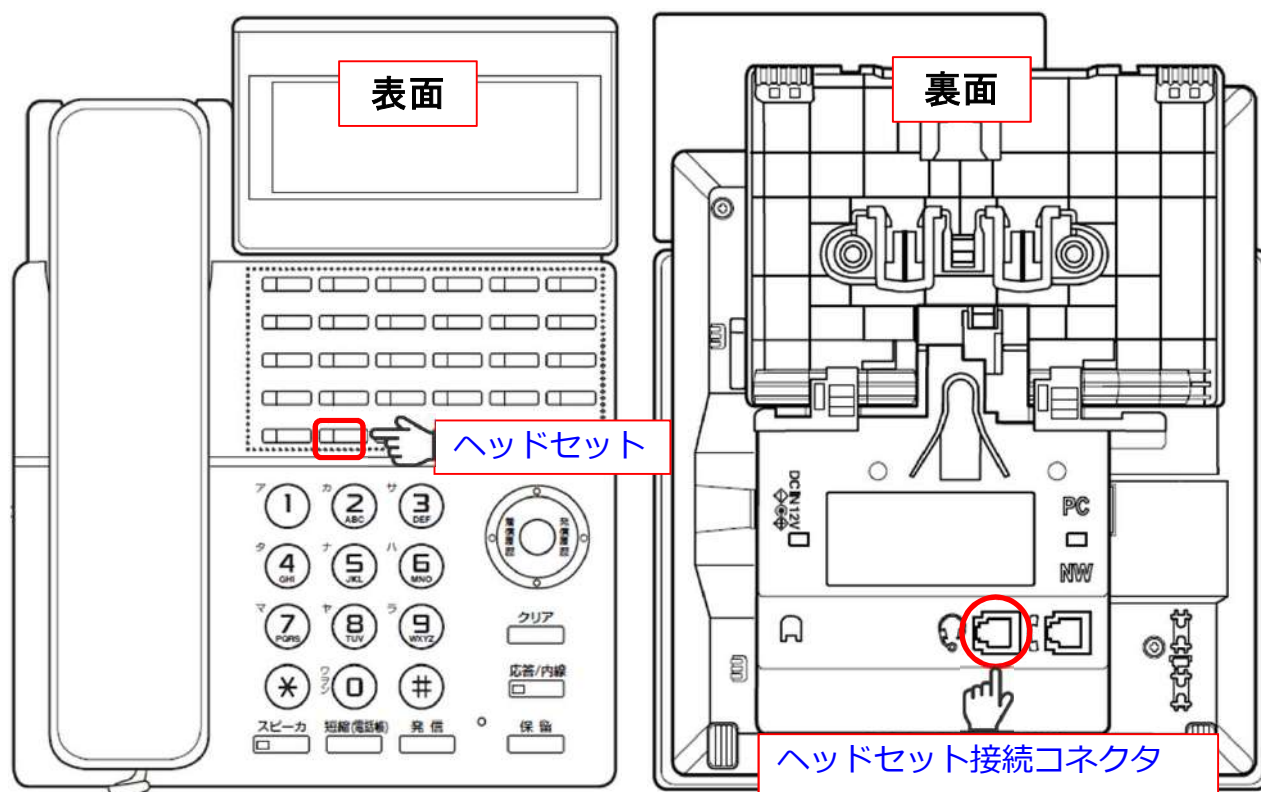
機能説明 ヘッドセット接続

ヘッドセットを接続することによりヘッドセットでの通話を行うことができます。

「ヘッドセットキー」を押し、赤くランプが点灯している際に、ヘッドセット接続コネクタに接続されたヘッドセットで通話を行うことができます。
もう一度「ヘッドセットキー」を押すことでランプは消灯し、ハンドセットでの通話に切り替わります。

注意

- ・使用できるヘッドセットは「RJ11」コネクタのものになります。
パソコン用などのヘッドセットはご使用になれません。
- ・実際に電話機に使用できるかは**ヘッドセットのメーカーにお問い合わせください**。
- ・「ヘッドセット」ボタンが点灯している間はハンドセット、ハンズフリーでの通話は行えません。



Startia
Cloud Voice

04

機能説明 営業時間案内



設定することにより営業時間後に電話をかけてきた相手にガイダンスを送出します。ガイダンス送出手後は通話を切ります。

初期ガイダンス内容（営業時間案内）

「お電話ありがとうございます。申し訳ございませんがただいまの時間は営業時間外となっております。恐れ入りますが翌営業時間内にあらためておかけなおしてください。お電話ありがとうございました。」

営業時間案内にグループボイスメール機能（要申込）を割り付けることで、ガイダンスを送出した後でボイスメールに相手のメッセージを録音することができます。

初期ガイダンス内容（営業時間案内+グループボイスメール）

「お電話ありがとうございます。申し訳ございませんが、ただいまの時間は、営業時間外となっております。恐れ入りますが、翌営業時間内に改めてお掛け直し頂くか、発信音の後にメッセージをお話ください。お電話ありがとうございました。」

※上記の音声内容が流れた後にピー音が鳴ります。

営業時間案内操作方法

設定： * 1 1 1 + グループ内線番号 → 発信
解除： * 1 1 0 + グループ内線番号 → 発信

録音されたメッセージの確認方法

- ・「 9 0 0 1 」 + 発信 でメッセージセンターに電話をかける。
- ・ガイダンス後、グループ番号 「グループ番号」 をダイヤル。
- ・再度ガイダンスが流れるので、
 - 新しいメッセージを聞く場合 → 「 1 」
 - 保存されたメッセージを聞く場合 → 「 2 」
- 留守のメッセージを聞いた後で
 - もう一度メッセージを聞く → 「 1 」
 - メッセージを保存 → 「 2 」
 - メッセージを削除 → 「 7 」

電話番号	グループ内線番号

- ・グループ内線番号は電話番号毎に設定されています。
分からない場合はスターティアまでお問い合わせください。
- ・グループ所属の電話機からのみ設定可能です。
- ・ガイダンスの内容は有償で変更することができ、詳しくは担当営業にお問い合わせください。



Startia
Cloud Voice

04

機能説明 グループ不在転送による留守電



不在時にグループ不在転送の転送先にボイスメールを指定することで留守電として使用することができ、相手先様のメッセージを録音することができます。

初期ガイダンス内容

「おかけになった、電話番号XXX-XXXX-XXXXは、ただいま電話にでる事ができません。発信音の後にメッセージを録音してください。録音を終了する場合は、#を押してください。音声の無い場合は、録音が自動的に終了します。」

グループボイスメール（グループ転送先をグループボイスメールに設定します）

設定： * 1 7 1 + グループ内線番号 + 9 0 0 1 → 発信

解除： * 1 7 0 + グループ内線番号 → 発信

録音されたメッセージの確認方法

- ・「 9 0 0 1 」 + 発信 でメッセージセンターに電話をかける。
- ・ガイダンス後、グループ番号 「グループ番号」 をダイヤル。
- ・再度ガイダンスが流れるので、

新しいメッセージを聞く場合 → 「 1 」

保存されたメッセージを聞く場合 → 「 2 」

留守のメッセージを聞いた後で

もう一度メッセージを聞く → 「 1 」

メッセージを保存 → 「 2 」

メッセージを削除 → 「 7 」

- ・グループ内線番号は電話番号毎に設定されています。
分からない場合はスターティアまでお問い合わせください。
- ・グループ所属の電話機からのみ設定可能です。
- ・ガイダンスの内容は有償で変更することができます。
詳しくは担当営業にお問い合わせください。

電話番号	グループ内線番号

注意

ご使用にはサーバーへの初期設定（無償）と
グループ転送機能の申込（初期設定有償）が必要になります。



Startia
Cloud Voice

04 機能説明 公私区分(1/2)



公私区分に登録した携帯電話番号（またはStartia Cloud Voice 以外の電話機）から会社の電話番号を発信元番号として相手先の電話機に表示します。通話料金は会社のStartia Cloud Voice に課金されるため、携帯電話等には請求されません。

かけ方

・ 00912091 + 相手先電話番号（市外局番から） → 発信

- ・ 登録は予め申請により行います。
- ・ ご使用の電話機 1 台につき 1 台の携帯電話番号を登録することができます。

ユーザ番号	登録番号

04 機能説明 公私区分(2/2)



公私区分に登録した携帯電話番号（またはStartia Cloud Voice 以外の電話機）から下記の操作を行うことができます。

- ・グループメールボックスに登録された留守電内容を確認する
0091 + 20 + 91 + 相手先電話番号（市外局番から） → 発信
ガイダンスが流れるのでガイダンスに従って操作を行う
- ・グループ転送機能（常時転送）
設定 0091 + 20 + 92 + 171 + グループ内線番号 → 発信
解除 0091 + 20 + 92 + 170 + グループ内線番号 → 発信
- ・グループ転送機能（不在転送）
設定 0091 + 20 + 92 + 181 + グループ内線番号 → 発信
解除 0091 + 20 + 92 + 180 + グループ内線番号 → 発信
- ・営業時間案内
設定 0091 + 20 + 92 + 111 + グループ内線番号 → 発信
解除 0091 + 20 + 92 + 110 + グループ内線番号 → 発信

注意

- ・設定したいグループに所属しているユーザー公私区分登録された携帯電話機から続けてダイヤルし発信してください。
- ・グループ転送機能は開始解除のみ行うことができます。転送先電話番号の変更は公私区分登録の携帯電話機からは行うことができません。

04

機能説明 フォローミー



着信時に社内の電話機に紐付いて登録した携帯電話番号（またはStartia Cloud Voice 以外の電話機）を同時に呼び出す機能。

- ・電話番号の登録は申請により予め行っておく必要があります。
- ・公私区分登録された電話番号とは異なる電話番号も登録することが可能ですが遠隔での開始解除は公私区分登録された電話番号からのみ可能なため同じ番号で登録することを推奨します。
- ・システム上社内の電話のほうが先に呼び出しが開始されます。

電話機から

設定 *151 → 発信

解除 *150 → 発信

公私区分登録された携帯から

設定 0091 + 20 + 92 + 151 → 発信

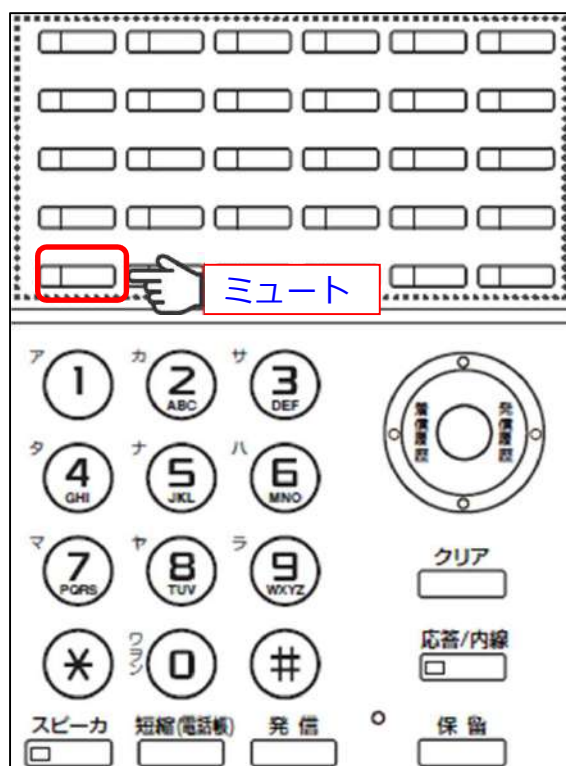
解除 0091 + 20 + 92 + 150 → 発信

ユーザ番号	登録番号

04 機能説明 ミュート

相手の片とお話をミュートする／解除することができます。

- ・通話中に「ミュート」ボタンを押す（ミュートする）
- ・「ミュート」ボタンを押して、相手の方とお話をする（ミュート解除）



05

停電の際の対応 1/2

ビル検査などにより停電が行われる場合は**あらかじめ機器の電源ケーブルをコンセントから抜いて電源を落としてください。**

- Startia Cloud Voiceで使用しているルータ、電話機、コードレス電話機には**電源スイッチがありません。**電源を落とすときは**電源ケーブルをコンセントから抜いてください。**

- 別途ご使用のHUBなどの本体に電源スイッチのあるものの場合は、電源スイッチを切ってから電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

- 電源を落としたことによる機器の故障等に関してスターティア株式会社では補償しかねますのでご了承ください。

電源が切れている間の着信は、使用している回線の状況によって動作が異なります。

- グループ転送設定で転送をかけている場合
→転送先電話番号に転送されます。
- フォローミー機能をご使用の場合。
→フォローミーに登録された電話番号は着信します。
- 営業時間案内を設定している場合
→営業時間案内のガイダンスが流れます。
- グループボイスメール（留守番電話）を設定している場合
→留守番電話のガイダンスが流れます。
- 上記設定を行っていない場合
→話中になります。
- ひかり電話直収タイプで「ボイスワープ」設定をかけていない場合
→機器が故障中、または電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。
- ひかり電話直収タイプで「ボイスワープ」設定をかけている場合
→転送先電話番号に転送されます。



Startia
Cloud Voice

05

停電の際の対応 2/2

電源は光回線から遠い方から切り、近い方から入れていきます。

電源を落とす順番。



ONU



HUB



Startia Cloud Voice ルータ



電話機

電話機の電源は
ルータの②Status ランプが
点灯してから入れ直してください。

接続系統例



FAXアダプタ



FAX

電源を入れる順番。



Startia
Cloud Voice

別 1 | ボイスワープ設定方法

ご使用いただいている電話番号が東日本電信電話株式会社または西日本電信電話株式会社のひかり電話フィスタイプの場合、転送機能をご使用いただくには両会社の提供するボイスワープをご契約いただく必要があります。（詳しくは営業担当にお問い合わせください）

ご契約いただいた後、社内の電話機より下記操作を行うことで転送を行うことが出来ます。

①転送先番号の登録（初回および転送先電話番号の変更時のみ）

1 4 2 → 発信 → 2 → 転送先電話番号# → 1

②転送先の開始（設定）

1 4 2 → 発信 → 1 → 1

③転送先の停止（解除）

1 4 2 → 発信 → 0

※「→」の間にガイダンスが流れます。他の設定を行う場合はガイダンスに従って操作を行ってください。

※ボイスワープの設定を行えるのは発信者番号がボイスワープを行う電話番号に設定されている電話機からになります。



Startia
Cloud Voice